

○臼井智美* 勢田二郎** 杉田洋子***

(*帝京三高 **山梨大 ***國學院大栃木短大)

<目的>被服構成実習においては、個人の能力差が実習進度に大きく影響し、指導は個々の学生への個別の対応となる。また授業時間外の作業も必要となっている。そこで、場所と時間を問わずに、使用できる「一人で学ぶ」指導ソフトの製作をおこない、実際の授業に用いて、その教育効果を検討した。

<方法>浴衣の製作内容を、HTMLを用いて作成し、現在、急速に拡大普及しつつあるインターネット上に、ホームページとして開いた。使用者はこのホームページにアクセスすることにより、いつでもどこからでもその内容を、鮮明な映像などの情報として引き出すことができる。加えて、最近のブラウザは計算機能もあるので、これも利用できる。このシステムを、山梨大教育学部家政科の専門科目である被服構成学実習に適用し、教育効果をアンケート調査（学生12名、指導者1名）により確かめた。

<結果>学習全体についての評価は、5段階評価においてやや良い結果であった。その中で、ソフトの操作性の評価は良いという結果であり、操作が簡単であることを示していた。さらに、画面の構図や色彩、学習の楽しさや自分のペースでできることについては良いという結果が得られた。一方、疲労については、普通の評価であった。指導者の評価も学生とほぼ一致した。このような学習形態は、実技教育において有効と考えた。